

〔Ⅰ〕 本校の位置する東京都は全国では3番目に小さな面積ですが、伊豆・小笠原諸島など、広い範囲を含みます。伊豆諸島のひとつに八丈島があります。八丈島に関連する、以下の問いに答えなさい。

問1 図1を参照し、日本の島の中で八丈島より北に位置するものをア～オの中からすべて選び、記号で答えなさい。

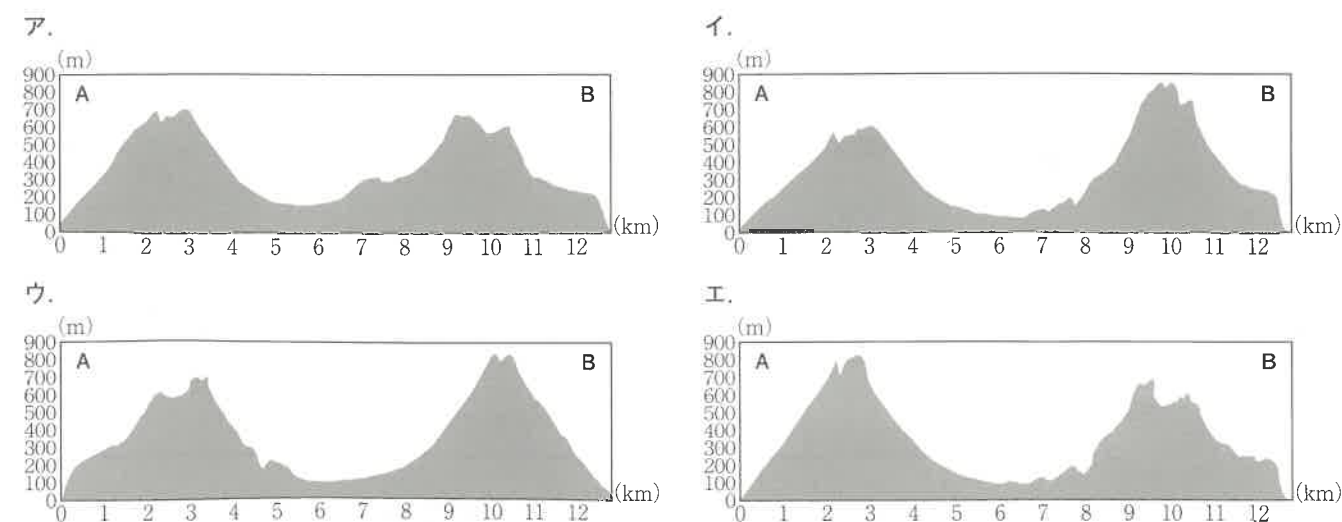
- ア. 南鳥島
- イ. 淡路島
- ウ. 屋久島
- エ. 色丹島
- オ. 対馬

問2 図2のように、八丈島の断面図A－Bを作成しました。断面図としてふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。



図1

図2



問3 八丈町勢要覧から人口構成を示す図3を見つけました。図に関する次の問題に答えなさい。

- ① 59歳以下の中で、最も人口が少ない年齢層を○～○歳のよう算用数字で答えなさい。
- ② なぜ①で答えた年齢層の人口が少ないのか。その理由を20字以内で説明しなさい。

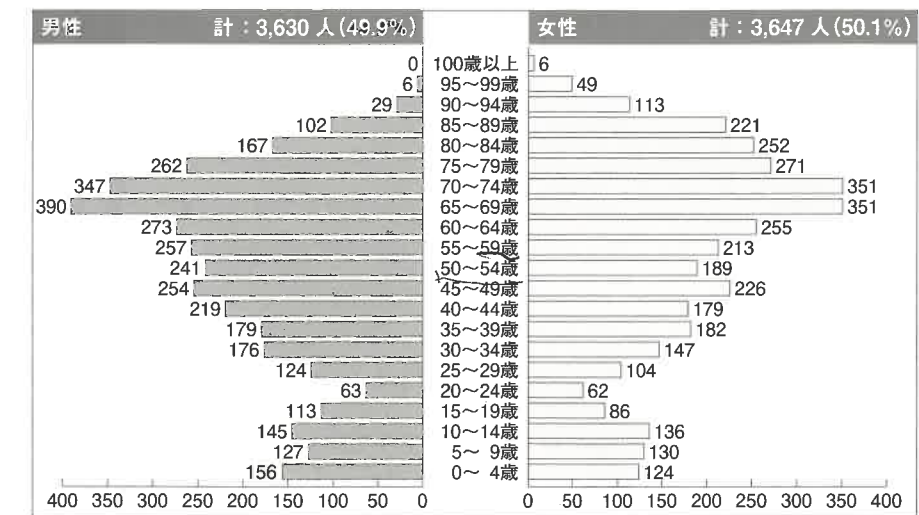
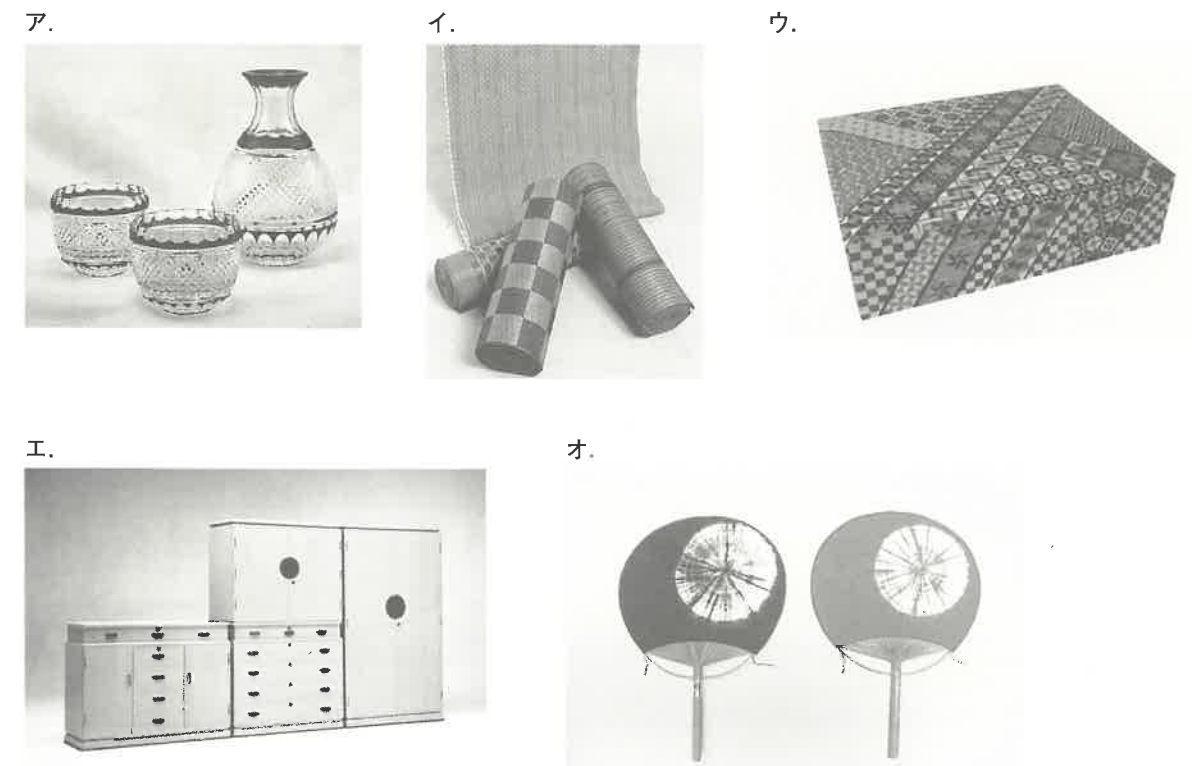


図3

(八丈町勢要覧「はちじょう2019」より)

問4 八丈島の伝統的工芸品に関する、次の問題に答えなさい。

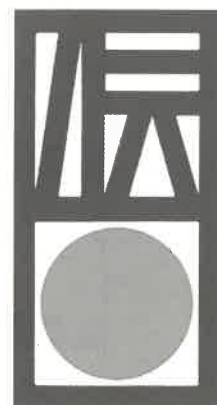
- ① 日本には様々な伝統的工芸品があります。八丈島の特産品である伝統的工芸品を、次のア～オの中から1つ選び、記号で答えなさい。



(ポプラディアネットより)

② 次のマークは、伝統的工芸品に指定された工芸品につけられる「伝統マーク」です。このマークをつけるための条件としてふさわしくないものを次のア～オの中から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 30年以上の歴史をもつ伝統的な技術をつかっている。
- イ. 作業の主な部分が手作業である。
- ウ. 主に特別な行事・儀式に使用するための製品をつくっている。
- エ. 主な原料が100年以上前からひき続き使われている。
- オ. 特定の産地で、およそ30人以上の生産者により製造されている。



(伝統的工芸品産業振興協会HPより)

問5 次の地図は地理院地図の八丈町の一部を示しています。地図をよくみて次の問題に答えなさい。



① 次のア～エは、地図中の尾崎の交番から中里の交番まで、最短距離で行くことが出来る道を、前を向いて歩いた時に確認できたものです。確認できた順番に並べ替え、記号で答えなさい。

- ア. 小・中学校がある。
- イ. ^{からたき}唐滝川が下を流れている。
- ウ. 左手に郵便局がある。
- エ. 右手に郵便局がある。

② 八丈島では島の特色をいかし、自然エネルギーの活用に取り組んでいます。行政として、2つの自然エネルギーの利用に力をいれていましたが、1つは発電量にむらがあり発電を平成26年に停止したようです。次の図4のXにふさわしいものを、次のア～オの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 風力発電
- イ. 太陽光発電
- ウ. 潮力発電
- エ. 水力発電
- オ. 地熱発電

八丈町の年間発電電力量 (平成30年度)

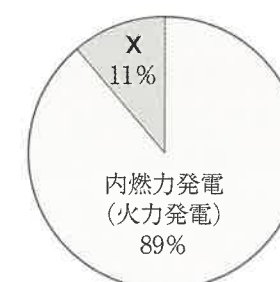


図4

(八丈町勢要覧「はちじょう2019」より)

問6 次の図5は、2010年と2017年の日本の発電量の内訳を示していますが、八丈島とは大きく異なります。次の問題に答えなさい。

① A～Dにあてはまるものを、次のア～エの中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 再生可能エネルギー イ. 火力 ウ. 水力 エ. 原子力

② Cは2010年から2017年にかけて発電量の割合が大きく減少しています。この減少に大きな影響をあたえた出来事は何ですか。その内容を20字以内で答えなさい。

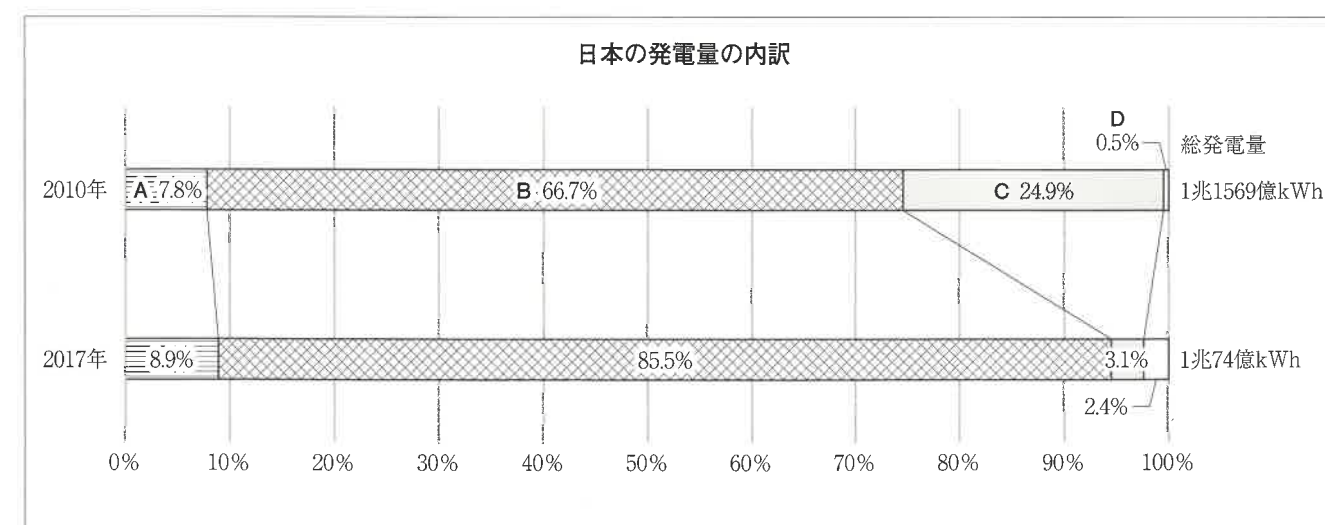


図5

(『データブック オブ・ザ・ワールド2020』より)

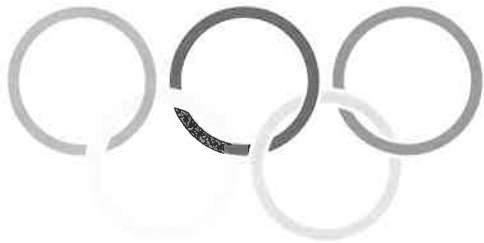
〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

昨年7月から開催される予定だった、1 東京2020オリンピック・パラリンピックは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮して、1年延期されました。その延期が発表された昨年3月は感染者が次第に増えてきた頃で、感染拡大防止のために政府や、2 東京都知事からは「密閉・密集・密接のいわゆる3密」を避けるようにという呼びかけがされました。そして4月には緊急事態宣言が発出され、日本全体で感染拡大を防ぐ努力が続けられました。緊急事態宣言は5月末には解除されましたが、この先まだまだ予断は許されない状況でしょう。

ところで、東京2020オリンピック・パラリンピックで選手に贈られるメダルの原材料が、どのように集められたのかを知っていますか。今までは、3 金・銀・銅の天然鉱物が主な原材料でしたが、今回は初めて、4 リサイクル素材だけを原材料としてメダルを作るという内容の「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」によって、5千個以上のメダルに必要とされる、およそ金32kg、銀3,500kg、銅2,200kgが確保できたそうです。これは、5 2015年に開催された国連サミットの中で、2030年までによりよい世界を実現させようと採択された「SDGs」という目標に沿って大会を運営しようと実施されたものでした。私たちの未来へ向かっていろいろな取り組みがなされていることに、これからも注目してみてください。

問1 下線部1について、オリンピックには、図のような5つの輪をつなげたシンボルマークがあります。この5つの輪の意味としてもっともふさわしいものを次のア～オの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 大陸 イ. 海洋 ウ. 宗教 エ. 言語 オ. 民族



問2 下線部2について、東京都知事と被選挙権が同じ条件のものを次のア～オの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 市区町村長
イ. 市区町村議会議員
ウ. 都道府県議会議員
エ. 衆議院議員
オ. 参議院議員

問3 下線部3について、次のア～エはメダルに使用される金・銀・銅、および鉄鉱石の国別産出量の割合（2015年、イのみ2016年）上位3カ国を示したものです。そのうち金・銀・銅にあてはまるものをそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

ア.

オーストラリア	34.7%
ブラジル	18.4%
中国	16.6%
世界計	14.0億 t

イ.

中国	14.5%
オーストラリア	9.3%
ロシア	8.1%
世界計	0.31万 t

ウ.

チリ	30.2%
中国	9.0%
ペルー	8.9%
世界計	1,910万 t

エ.

メキシコ	21.4%
ペルー	15.3%
中国	12.3%
世界計	2.76万 t

（『データブック オブ・ザ・ワールド2020』より作成）

問4 下線部4について、何をリサイクルしたのですか。都市鉱山の意味をあきらかにした上で、20字以内で答えなさい。

問5 下線部5について、次の問題に答えなさい。

- ① 「SDGs」のことを日本語では何といいますか。解答用紙の不足部分にあてはまる語句を7字で答えなさい。
- ② 「SDGs」は17の目標で構成されていますが、今回の「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」はその中のどの目標について貢献する活動だったのでしょうか。次のア～オの中からもっともふさわしいものを1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
イ. 産業と技術革新の基盤をつくろう
ウ. 住み続けられるまちづくりを
エ. つくる責任 つかう責任
オ. 気候変動に具体的な対策を
- ③ 次のi～iiiの文は国連に関係した機関や活動について説明したものです。それぞれの略称をアルファベットで答えなさい。
- i 今回の新型コロナウイルス感染症対策の中心も担っている、世界の人々の健康を基本的人権のひとつとらえ、その達成を目的として設立された国連の専門機関。
- ii 世界のどこかで地域紛争が起きたときに、国連の安全保障理事会の決議に基づいて編成され派遣される国際的な活動。
- iii 元来は国連によって定められた民間団体であり、どの国の政府にも属さずに、平和や人権問題、環境問題などに取り組む、利益を目的としない国際的な組織の総称。

〔Ⅲ〕 次の【A】～【C】の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

【A】 社会をいとなむ上で、モノや情報のやりとりは欠かせない要素です。このやりとりのことを、広い意味で「交通」と呼びます。1 情報のやりとりを取り出して、コミュニケーションと呼ぶこともあります。となりにいる人と会話するのは簡単ですが、スマートフォンやパソコンも無い時代に、遠くにいる人とやりとりをするのは大変です。そこで人々はすぐれた「交通」を実現するために、様々な努力を重ねてきました。

こうした方法のひとつに、2 狼煙があります。これはオオカミの糞や、草木を燃やして煙を立て、相手に情報を伝えるというものです。中国の万里の長城には、狼煙をあげた跡が残っています。日本でも、この方法が採用され、島々や見通しの良い山の頂上などに、狼煙をあげるための施設が作られていました。

人々が運ぶものは、情報ばかりではありません。生活に必要な多くの物資を運ぶ必要もありました。それには、運ぶための手段と道が必要になります。646年に出された3 改新の詔には、「初めて都を定め、国司^(注1)や郡司^(注2)を置き、関所を設け、駅馬^(注3)伝馬^(注4)を置き、鈴のしるしを作り、境界を定めよ…」という記述があります。この頃の朝廷は、情報の伝達や物資の移動のために、都と各地方を結ぶ道の整備に力をつくしていました。701年に出された大宝律令には、各国々を7つの地域に分け、国の中心となる国府と都（朝廷の置かれた場所）とを結ぶ道を整備することが定められました。また、各国を治めるため、都から国司が派遣されるとともに、農民が負担すべき税の制度も定められました。税には、様々な種類がありますが、主なものは租、庸、調の3つになります。このうち稲を対象とする租は、国府の倉に納めることになっていましたが、4 地方の特産物である調や、労働の代わりに布を納める庸は、都まで運ばれることになっていました。また、朝廷からの重要な知らせは、役人が馬を利用して各地方に伝えることになっており、このための施設として、およそ16 kmごとに駅家が設けられ、馬の交換や休憩等に利用されていました。古代の道路網は、国家事業として整備され、各地でその跡が見つっています。それらは、物資や情報をいち早く伝えるため、5 現代の新幹線や高速道路と同じように、都までの最短距離を選び、出来るだけまっすぐになるように作られていました。しかし、こうした大規模な施設を長期にわたって保つことは難しく、平安時代に入るとしだいにすたれてしまいました。

（注1）国司…地方にある国（現在の都道府県にあたる）を治めるため、朝廷から派遣された役人のこと。

（注2）郡司…国よりも小さい単位である郡を治める役人で、現地の有力者が任命された。

（注3）駅馬…各駅に置かれた馬で、駅鈴という鈴を持った役人が利用できた。

（注4）伝馬…駅馬とは別に置かれた朝廷の用事に使用するための馬。

問1 下線部1について、現代における情報のやりとりは、人間の持つ様々な権利と関わりを持ちます。中でも「自分の情報を他人に知られたくないという権利」は、日本国憲法で保障されると考えられている新しい人権のひとつです。これは、新しい人権のうち、どのような権利として分類されているのでしょうか。次のア～エの中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 環境権
- イ. プライバシー権
- ウ. アクセス権
- エ. 自己決定権

問2 下線部2について、狼煙による情報伝達には、どのような特徴が考えられるでしょうか。その特徴としてふさわしいものを、次のア～エの中から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 煙の色や、回数を変えることで、会話のような複雑なやりとりも手軽に行うことが出来た。
- イ. リレーすることで、遠いところにいる相手にも素早く情報を伝えることが出来た。
- ウ. 火と煙を使う情報伝達手段のため、悪天候時には役に立たない上、使用出来なかった。
- エ. 便利な情報伝達手段として、電話が普及するまで、都市に住む多くの人々が利用していた。

問3 下線部3について、次のア～エの文は、「改新の詔」の前後にあった出来事について書かれたものです。内容をよく読み、その出来事が起こった順に並べ替え、記号で答えなさい。

- ア. 役人に対し、家柄ではなく、その能力に応じて色のついた冠^{かんむり}を授ける初めての制度や、役人の守るべき事柄を盛り込んだきまりが作られた。
- イ. 数回にわたる航海の失敗の結果、失明の憂き目に遭いながらも、正式な僧になるためのきまりを授ける目的で、中国（唐）から優れた僧が来日した。
- ウ. 古墳から出土した鉄剣や鉄刀によって、九州から関東地方を支配していたことが確認されている人物が、朝鮮半島の支配権を求めて中国（宋）に使いを送った。
- エ. 日本（倭）とつながりのある、百済が滅亡したため、その復興を目指して倭は大軍を送ったが、中国（唐）と新羅との連合軍に大敗した。

問4 下線部4について、以下の表は、平安時代につくられた『延喜式』というきまりに定められた、各国（地方）から都までの、移動にかかる標準所要日数です。地方から都に向かう上りの日数と都から地方に向かう下りの日数に違いがあるのはなぜでしょうか。その理由を考えて答えなさい。

国名	上りの日数	下りの日数
武蔵国（現在の東京都・埼玉県・神奈川県の一部）	29日	15日
尾張国 ^{おわり} （現在の愛知県西部）	7日	4日
越後国 ^{えちご} （現在の新潟県）	34日	17日

問5 下線部5について、新幹線や高速道路の建設には、法律の制定が必要です。法律の制定に関するア～エの説明文を読み、正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 法律案は、衆議院、参議院に属する国会議員しか提出することは出来ない。
- イ. 法律案について衆参両議院で異なる議決が出た場合は、必ず両院協議会が開かれる。
- ウ. 衆議院の解散中は審議が行えないため、内閣の閣議による審議を経て、法律がつくられる。
- エ. 両院の議決により成立した法律は、必ず天皇への奏上^{そうじょう}^(注)を経て公布されることになっている。
（注）奏上…天皇に申し上げること。

【B】 武士が台頭する中世という時代に入ると、人やモノの移動は、さらに活発になります。特に大名どうしが互いに争った戦国時代は、敵対する相手の情報が重視されるようになりました。大名たちは、次の【イ】・【ロ】のように様々な手段を使って、この情報をつかもうとしました。

【イ】 甲斐国（山梨県）の戦国大名であった武田信玄は、信濃国（長野県）を攻略し、そのほとんどを領有しましたが、北部地域の領有をめぐって、越後国の大名、上杉謙信と争うことになりました。長野の善光寺に着いた謙信は、8月15日に近くの川中島に向かって出発します。川中島に隣接する海津城から謙信出動の知らせを受けた信玄は、8月16日に甲府を出発し、およそ160 kmを移動して8月24日に川中島に到着。その後2か月間のにらみ合いの末、決戦となりました。

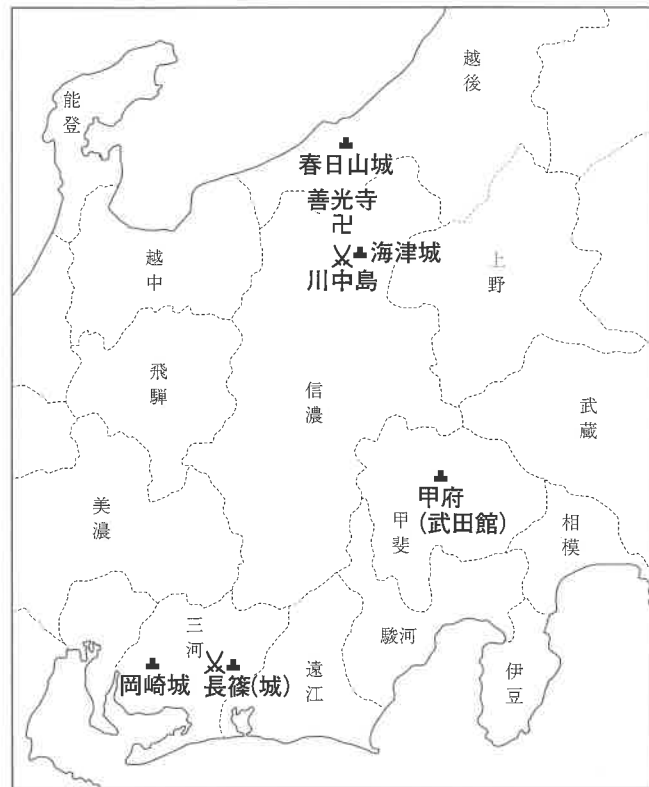
【ロ】 武田勝頼と徳川家康・織田信長が戦った長篠の戦いでも、情報のやりとりが勝敗を決める大きな要素になっていました。5月14日、徳川家康方の長篠城は、武田方の大軍に囲まれていました。城内にいた鳥居強右衛門は、武田軍の囲みをくぐり抜け、翌日約65 km離れた徳川方の岡崎城にたどり着いて助けを求めます。そこで織田・徳川の連合軍が出発の用意をしていることを知り、再び65 kmを1日で走り抜いて、城内の武士たちに援軍が来ることを伝えたのです。その言葉通り、16日に岡崎城を出発した織田・徳川の大軍は18日に長篠に到着し、21日に合戦が行われ、織田・徳川連合軍は勝利を収めました。

【参考】 旧日本陸軍の基準では、大部隊の移動は1日24 kmが基準とされていました。

問6 次の①～③の文は、【イ】・【ロ】の文章と【参考】から導きだされたものです。【関係地図】も照らし合わせて、述べられている内容が、正しいものには○、正しくないものには×をつけなさい。

- ① 武田信玄は、いち早く敵の情報をつかむための仕組みをつくっていたと考えられる。
- ② 武田軍の川中島までの移動時間は、旧日本陸軍の基準と比べて早い。
- ③ 織田・徳川連合軍の岡崎城を出てから長篠までの移動時間は、旧日本陸軍の基準と比べて早い。

【関係地図】



（歴史文化遺産『戦国大名』より作成）

【C】 江戸時代になると、大名は江戸と国元とを往復する参勤交代が命じられ、大名の妻子は江戸に住むことを強制されます。この結果、街道や宿場が整備されるとともに、江戸を出発地とする6 五街道は幕府の管理下に置かれました。宿場には馬を用意するための問屋場が置かれ、荷物の継ぎ送りなどに対応しました。この時代は各地の産物が江戸や大坂（大阪）などの都市に集められたこともあって、ものの動きも活発でした。とはいえ、街道沿いには関所が設けられていて、武家の女性が江戸から出ていくことは厳しく制限されていましたし、7 大井川など多くの河川では橋が設けられず、渡し船や人足の手によって川を渡っていました。情報のやりとりは、主に手紙に頼っていましたが、手紙を運んだのは飛脚と呼ばれる人でした。手紙を出したい場合には、町にある飛脚問屋に出向き、手紙を託します。料金は早さによって異なる仕組みになっていて、江戸から大坂まで6日で行く「定六」という便では、今の金額に直して30～40万円ほどかかったと言われています。通常便では日数の定めがなく、おおむね30日前後かかりました。こうした飛脚の制度は、幕末まで利用されましたが、主要都市や街道筋であればともかく、地方に住む人にとっては、気軽に利用できるものではありませんでした。

8 明治維新後の1870年、前島密は、政府が責任を持って郵便物を回収し、配達するという郵便制度を提案し、1871年から開始されることになりました。料金は統一料金となり、その後、江戸時代に名主をつとめた家が郵便を扱うことになって、全国の人々が気軽に手紙を出せるようになったのです。

問7 下線部6について、五街道の起点となっていた江戸内の場所を答えなさい。

問8 下線部7について、当時川幅1 kmにも及ぶ大井川には橋が設けられず、次の【絵画資料】のように川越人足と呼ばれる人たちが旅人を対岸に渡していました。なぜ幕府は橋を設けなかったと考えられますか。【絵画資料】を参考にし、その理由を答えなさい。ただし、防衛上の理由は除きます。

問9 下線部8について、日本の郵便事業は、2021年現在、どのようなかたちで行われているでしょうか。次のア～エの説明文の中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 郵便事業は、現在も政府主導で行われており、それを総務省が管轄している。
- イ. 現在の郵便事業は、貯金や保険の制度と合わせ、日本郵政公社という政府の手でつくられた会社によって運営されている。
- ウ. 現在の郵便事業は、主として郵便事業を行う日本郵便株式会社という会社が作られ、そこが担当している。
- エ. 現在の郵便事業は、すべて民間の宅配便会社が担当しており、ポストに投函された手紙類の回収や配達、宅配便の受け入れや配達と同時に行われている。

〔以下余白〕

